

麒麟ビバレッジ 2019年1月販売概況レポート

1. 麒麟ビバレッジ社

カテゴリ	前年比
清涼飲料合計	102%

- ・清涼飲料市場全体は単月前年比 101%となった。
- ・当社は単月前年比 102%で着地。
- ・生茶は、量販チャンネルが小型・大型ペットボトル共に好調に推移し、単月前年比 111%
- ・午後の紅茶は、ホット商品を含む主力 4 品（ストレート、ミルク、レモン、おいしい無糖）が好調に推移し、単月前年比 104%
- ・ファイアは、自販機チャンネルの減少トレンドに加え、CVS チャンネルでのアイテム数減少、また量販チャンネルにおいても販売が伸び悩み、単月前年比 82%
- ・健康・スポーツ飲料は、「アミノサプリ C」、「麒麟ラブズスポーツ」が好調に推移したものの、前年同月新発売の「iMUSE レモンと乳酸菌」の裏返しで、単月前年比 81%

以上